

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	予防接種事業	会計名称	一般会計		担当課	健康増進課	
		予算科目	4 款 1 項 3 目	事業番号	2100	所属長名	渡辺 悦子
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	大谷 香代子	
法令根拠等	予防接種法				実施期間	【開始】	平成 18 年度
総合計画での位置付け	健康福祉都市の創造 生涯にわたる健康づくり					【終了】	平成 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	予防接種の接種率を高め、疾病の発生及びびまん延を予防することで健康な状態を維持し、健康寿命の延伸を目指す。						
事業の対象	乳幼児、児童、65歳以上の高齢者			事業の目的	各種予防接種の実施により、伝染のおそれのある疾病の発生及びびまん延を予防し、公衆衛生の向上及び増進に寄与するとともに、予防接種による健康被害の迅速な救済を図ることを目的とする。		
事業の内容 (整備内容)	予防接種法上定められている疾病に対する予防ワクチン及び予防接種法に基づかない任意接種を医療機関に委託して個別接種を実施する。			昨年度の課題に対する具体的な改善策	予防接種の種類が年々増えているが、接種忘れの無いよう効果的な接種勧奨時期・勧奨方法を検討し、接種率向上のため啓発活動に力を入れる。		

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	27 年度実績	28 年度予定	9月末の実績	28 年度実績
直接事業費	92,489	102,287	△ 2,442	0	0	94,556	定期接種 (A類疾病) 接種者	人	6167	6500	3094	6353
財源内訳												
国庫支出金	0	0	0	0	0	0						
県支出金	0	0	0	0	0	0						
地方債	0	0	0	0	0	0						
その他	0	0	0	0	0	0						
一般財源	92,489	102,287	△ 2,442	0	0	94,556						
職員の人工 (にんく) 数	1.82	1.45				1.45						
1人工当たりの人件費単価	8,042	8,086				8,086						
※ 直接事業費+人件費	107,125	114,012				106,281						
主な実施主体	直接実施		実施形態 (補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)		愛媛県医師会と業務委託 (委託料92,296千円)							
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					29 年度	30 年度	31 年度	32 年度	33 年度	5年間の合計		
					100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	500,000		
成果指標	指標	MR (麻しん・風しん) 2期予防接種の接種率			単位	%	区分年度	27 年度	28 年度	29 年度	目標 毎 年度	
	指標設定の考え方	日本は麻しんの排除状態にあると認定されたが、近年、免疫を持たない年齢層での麻しん・風しんの流行がみられており、社会的に与える影響は大きい。標準的な時期にMR (麻しん・風しん) 予防接種を受けることで、麻しん・風しんの発症を防ぎ、重篤な後遺症や先天性風しん症候群の発生を無くすることができる。			⇒		目標	97	97	97		
	指標で表せない効果	重症疾患を持ち長期療養している方や保護者の考えにより接種されない方もあり、接種率を100%にすることは困難である。					実績	94.6	95			

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		接種間隔や対象年齢に満たないで接種した者が若干みられた。分かりやすい接種勧奨文の工夫や医療機関へ周知徹底を図った。10月から新たに乳児のB型肝炎ワクチンが始まるが、接種期間が短い対象者へは速やかに接種できるよう周知に努めている。									
業務事業の事業評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。	5	合計点が	A	事業成果・工夫した点 赤ちゃん訪問・乳幼児健診・育児相談等機会あるごとに予防接種の説明や接種状況の確認を行い、接種勧奨に努めている。 高齢者肺炎球菌やMR2期kなど年度末で対象期間が終わる対象者へは、再度広報で啓発したり個別に接種勧奨をし、接種率向上を目指した。 B型肝炎ワクチンは、丁寧な接種勧奨の効果で高い接種率を維持できている。			
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。	4	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D					
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。	4						
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 市は関与しないで、民間や市民団体に委ねるべきである。 市民生活の課題、又は行政内部の課題解決に大いに貢献している。	4	合計点が	A				
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	4	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D					
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決になっていない。 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。	4						
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 目的は十分達成されており、事業継続の必要性は低い。 施策推進への貢献は多大である。	4	合計点が	A					
		コスト効率	5 4 3 2 1 施策推進に向け、効果を認めることができる。	4	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D						
		市民 (受益者) 負担の適正	5 4 3 2 1 施策推進につがっていない。 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。 最適な手段であるが、更に民活、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。	4	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D						
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。	5	合計点が	A	事業の苦勞した点・課題 接種スケジュールを確認しながら、個々に応じた接種勧奨をするのが大変であった。 節目ごとにに予防接種別の接種状況を確認し、タイミングをみながら接種勧奨を行った。 乳児期の接種率は高いが、年齢が上がると接種率が下がる傾向にあり、効果的な啓発活動をする必要がある。			
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。	4	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D					
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。 市が積極的に関与・実施すべき事業である。	4						
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1 市は関与しないで、民間や市民団体に委ねるべきである。 市民生活の課題、又は行政内部の課題解決に大いに貢献している。	4	合計点が	A					
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	4	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D						
		施策への貢献度	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決になっていない。 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。	4							
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 目的は十分達成されており、事業継続の必要性は低い。 施策推進への貢献は多大である。	4	合計点が	A						
	コスト効率	5 4 3 2 1 施策推進に向け、効果を認めることができる。	4	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D							
	市民 (受益者) 負担の適正	5 4 3 2 1 施策推進につがっていない。 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。 最適な手段であるが、更に民活、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。	4	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D							
評価	所属長の課題認識	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。	5	合計点が	A	事業の方向性 ■ 事業継続と判断する。 □ 事業縮小と判断する □ 事業廃止と判断する (判断の理由) 乳幼児及び高齢者の定期予防接種は、疾病予防と重症化予防のためかかりつけ医療機関で個別に実施するもので、引き続き市民の健康管理を推進するため、事業を実施する。				
		社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。	4	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D						
		市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。 市が積極的に関与・実施すべき事業である。	4							
評価	所属長の課題認識	事業の効果	5 4 3 2 1 市は関与しないで、民間や市民団体に委ねるべきである。 市民生活の課題、又は行政内部の課題解決に大いに貢献している。	4	合計点が	A	所 属 長 の 課 題 認 識 乳幼児の予防接種の種類が多く、保護者とかかりつけ医師が接種スケジュールを組みこどもの体調のよいときに接種をすることになっているが、こどもの予防接種を受託している小児科医師が少ないため、体調不良等で接種が延期となった場合、予防接種の予約ができにくいという苦情があった。小児科医師不足や現在開業している医師の高齢化などの問題を抱えているが、保護者には、引き続きかかりつけ医師による予防接種と早期の接種勧奨を促し、接種合わせないように努めたい。 高齢者の予防接種については、費用の一部負担を行い、インフルエンザは毎年、肺炎球菌は生涯1回の実施としているが、対象者の増加と接種率の向上により、公費負担額が毎年増加し、財政を圧迫していることから、受益者負担の観点から、適正な負担割合について今後県下市町とも協議していきたい。				
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	4	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D						
		施策への貢献度	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決になっていない。 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。	4							
評価	所属長の課題認識	手段の最適性	5 4 3 2 1 目的は十分達成されており、事業継続の必要性は低い。 施策推進への貢献は多大である。	4	合計点が	A					
		コスト効率	5 4 3 2 1 施策推進に向け、効果を認めることができる。	4	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D						
		市民 (受益者) 負担の適正	5 4 3 2 1 施策推進につがっていない。 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。 最適な手段であるが、更に民活、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。	4							

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	<p>答申の内容</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>
------------	------	--

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断	事業の方向性		コメント欄
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input type="checkbox"/>	右記の点を見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を行う。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を行う。	